

2020年3月期 3Q決算補足資料

2020年2月13日(木)

株式会社HAPINS

代表取締役社長 柘植 圭介

(東京証券取引所JASDAQ 証券コード7577)

1. 2020年3月期 3Q決算概要

- ◆ 第3四半期減収も前年同水準の利益を確保
構造改革が順調に進捗し、収益性が改善

売上総利益率 2019年3Q → 2020年3Q
55.6% → 57.5%

- 商品数絞り込みによる戦略商品の拡販
- PB比率向上による粗利益の改善
- 不採算店の積極的な閉店（3Q累計:16店舗）

2. 来期に向けた重点施策

- 越境ECの稼働
- インフルエンサーの活用
- 実店舗イベントの拡大

1. 決算概要

減収も前年と同水準の利益を確保

	2019年3月期 3Q累計実績	2020年3月期 3Q累計実績	前年増減差	前年同期比
売上高	7,275	6,633	▲642	91.2%
売上原価	3,232	2,816	▲415	87.1%
売上総利益	4,043	3,816	▲226	94.4%
売上総利益率	55.6%	57.5%	+1.9%	-
販管費	3,783	3,589	▲193	94.9%
営業利益	260	227	▲33	87.3%
経常利益	202	200	▲1	99.0%
当期純利益	110	95	▲14	86.4%
店舗数	185	168	▲17	90.8%

構造改革による収益性の改善

- ◆ 10月の消費増税後の反動、天候不順による客数減少
- ◆ 暖冬により戦略品である冬物商材が不振

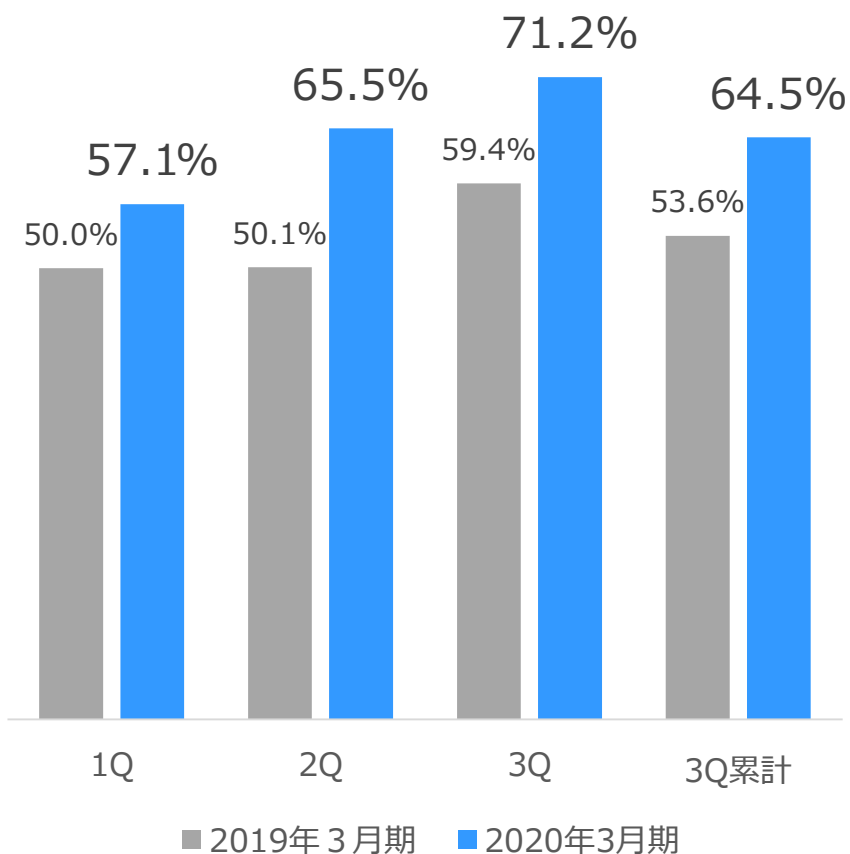


売上が想定を下回るも、
既存店の構造改革の推進が奏功



戦略商品の拡販によるPB比率の向上

売上高に占めるPB金額比率推移



3Q累計で
PB比率が10.9%向上

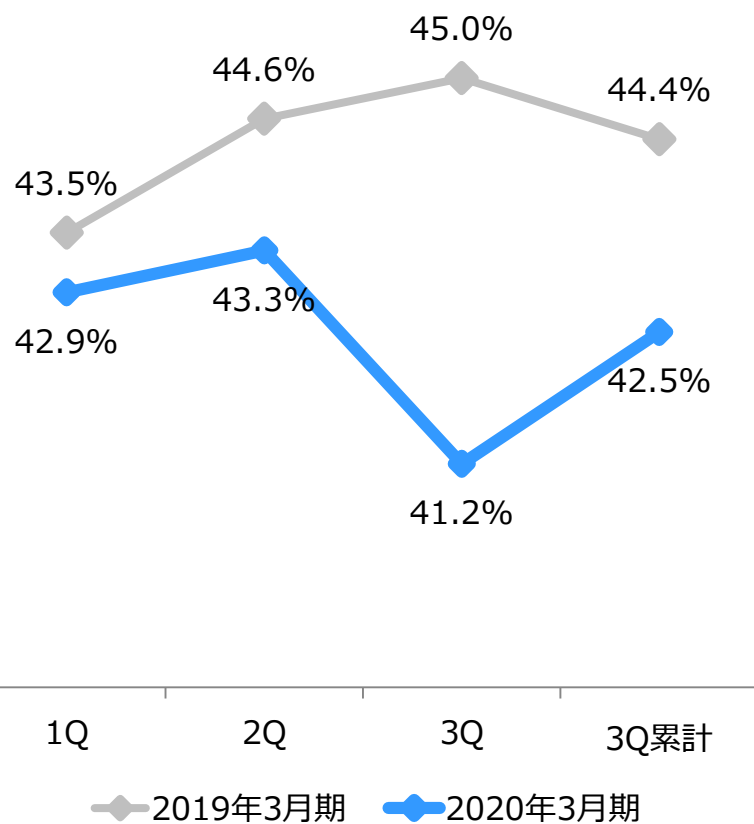


売上総利益率の改善



仕入原価率改善に注力

売上原価率の四半期推移（今期/前期）



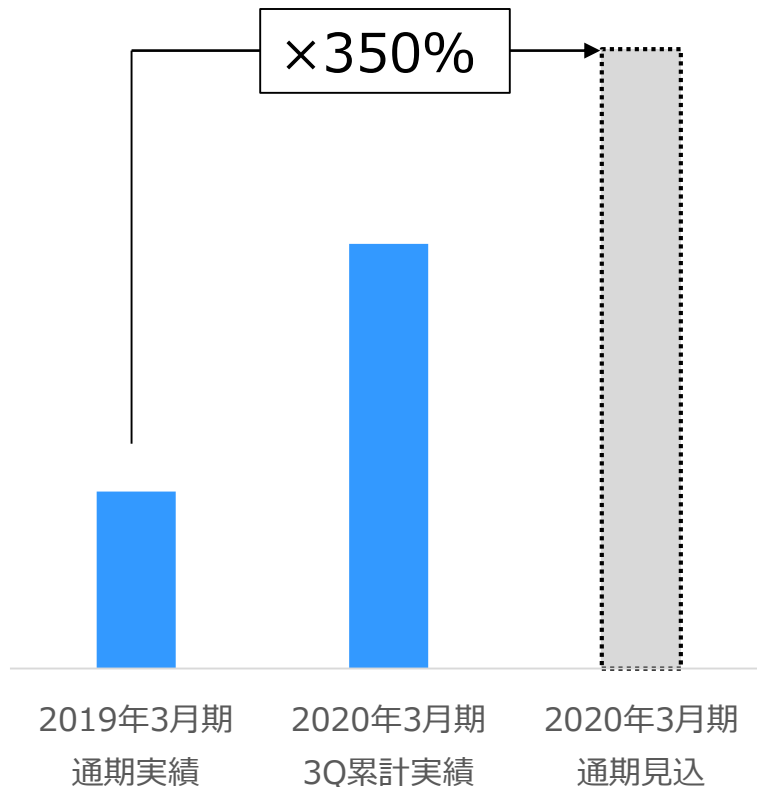
3Q累計で
約1.9%改善

- ・戦略商品の仕入原価改善が主要因
- ・SALE期である11月、12月もプロパー販売を優先、強化することにより更に改善。

2. 来期に向けた重点施策

越境 E C の稼働により更なる売上拡大へ

EC売上高推移



EC成長率 350%

※前期比 通期見込



更に今期中に
越境ECを稼働

- キャラクター商品中心に国内外で認知度向上を図る。
- 販路拡大で売上向上を図る。

インフルエンサーの活用による商品価値訴求



商品の広告宣伝施策として、オリジナル商品に絞ってインフルエンサーの積極的な活用を行う。



既にテストを実施。
販売促進・認知度向上を図る。
今期中に本格稼働。

集客イベントの強化により顧客接点拡大



- 1月 越谷レイクタウン店
Fuku Fuku Nyanko
販促イベントを実施。



SNS上でも盛り上がりを見せ、
大きな集客と売上に貢献した。

2月22日『ネコの日』に絡めて全店販促を実施

◆ 限定ポストカードをプレゼント



◆ PBアイテム新商品



◆ LINEスタンプPART2がリリース





国外販路拡大

越境EC稼働

認知度向上

インフルエンサー活用

顧客接点拡大

実店舗
イベント拡大



人気オリジナルキャラクター
『Fuku Fuku Nyanko』のブランディングをフックに
“HAPiNSブランド”を確立。

売上高同等も、取扱商品数の絞り込み等による収益力向上で、大幅増益を目指す

(単位：百万円)

	2019年 3月期実績	2020年 3月期計画	対前年 増減額
売上高	9,706	9,760	+54
営業利益	133	310	+177
経常利益	64	240	+176
当期純利益	▲57	10	+67

免責事項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。